

## 令和5年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立丹陽中学校	学校 No.	5 6
-------	-----------	--------	-----

## 1. 福祉教育の取り組み(目標・計画・推進体制)

本校は、「心身ともに健やかで、思いやりがあり、たくましく生きる人間を育てる」を教育目標にさまざまな体験を通して「夢を育む教育活動・豊かな心を育てる教育活動」の充実を目指している。

福祉活動については、今年度も「障がい者の方々と、共に生きる明るい社会を作るために、自分たちに何ができるのかを考え、実践できる生徒の育成」を目標に、活動への契機となる体験を通して介護や福祉に対する理解の深化、ボランティア精神の育成を図ろうと、校内・校外の諸活動に取り組んできた。

推進体制として、各学年に福祉担当教員を配置し、福祉実践教室、職場体験（ゲストティーチャーの分科会）などの学校行事の実施を中軸に、地域でのボランティア活動や生徒会による募金活動など、幅広く福祉活動を進めてきた。

## 2. 福祉教育の具体的活動の内容(活動の記録)

## (1) 社会福祉に対する関心を深め、意識を高める活動

## ① 各種施設でのボランティア活動（7、8月）

障がい者施設「あおぞら」、「おりすと作業所」、高齢者施設「丹陽」、おもちゃ図書館「なかよし」で、ボランティア活動を体験した。障害者施設では、キャンドル作りや自転車の解体作業を行うことで、作業所の人たちと交流することができた。高齢者施設では、高齢者の方の話し相手をしたり、介助の手伝いをしたりして、福祉について考えることができた。また、おもちゃ図書館では来館した未就学児に絵本の読み聞かせをしたり、折り紙で飾り付け用の作品を作ったりした。



## ② 福祉実践教室（10月）

1年生を対象に講座ごとに分かれて、実際に車椅子、手話、点字、要約筆記、視覚ガイドヘルプ、高齢者疑似体験、認知症理解、発達障がい理解の講座を受講した。実際に障害のある人々との交流や、具体的な介助の仕方を学ぶ中で、障がいのある方への理解を深めるとともに、「自分でも誰かの助けになれるかもしれない。」と気づくことができた。



## (2) 地域社会との連携を深めた活動

## ゲストティーチャーに学ぶ会（1月）

地域の方を招いて、地域の歴史や仕事などの経験談を聞くことができた。ゲストティーチャーの先生方の熱意のこもったお話に、真剣に聞き入る姿が見られた。



## (3) その他の活動

代表生徒が校区内の商業施設で赤い羽根共同募金への協力を呼びかけた。校区内で行うことで、地域の方の協力を得られた。また、生徒にとっても地域の方の温かい心に触れることとなり、良い経験になった。



## 3. 福祉教育の成果と今後の課題

福祉活動を通して、生徒たちが人の役に立てた喜びを感じたり、温かみのある行動を目の当たりにしたりすることができた。生徒の関心、意欲を高めながら、学校として今後も積極的に社会福祉活動に参加できる生徒を育てていきたい。



## 令和5年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立浅井中学校	学校No.	57
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>重点努力目標を「利他共生」と設定し、高齢者や障害のある人に対して関心と理解を深め、ボランティア活動等に積極的に参加し、活動を進めた。</p> <p>委員会やボランティアの生徒を中心に、次のようなねらいで計画し、実施を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○行事や授業での取り組みを通して、福祉に関する理解を深めさせる。</li> <li>○地域ボランティア等を通して、福祉に対する向上をはかる。</li> </ul> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>○通年</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道徳の授業で「いのち」や「人」をテーマに据え、生命の尊さや思いやりの心について学習を行った。道徳の授業を通して、継続的に取り組み、福祉の意識や人間の尊厳について考えた。</li> <li>・各種ボランティア募集</li> </ul> <p>○4月「緑の募金」11月「赤い羽根共同募金」「手足の不自由な子供を育てる運動」3月「震災復興支援募金」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各募金活動、支援活動を生徒会を中心に実施した。特に「震災復興支援募金」は生徒から実施の要望があり、実施された。</li> </ul> <p>○5月、10月、1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校連携あいさつ運動を実施した。あいさつする習慣を身につけ、地域や保護者とのよりよい関係づくりを目的に、中学生が小学校門に立ちあいさつ運動を行った。</li> </ul> <p>○12月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生で福祉実践教室を実施した。生徒に興味ある講座を選択させ、事前に調べ学習を行うことで関心を高めた。当日はどの生徒も興味深く話を聞き、意欲的に体験に取り組めた。</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1023 645 1406 922">  <p>募金活動の様子</p> </div> <div data-bbox="1023 976 1426 1270">  <p>復興支援募金への呼び掛けの様子</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="153 1447 437 1632">  </div> <div data-bbox="445 1447 713 1632">  </div> <div data-bbox="724 1447 991 1632">  </div> <div data-bbox="1018 1323 1422 1617">  <p>あいさつ運動の様子</p> </div> </div> <p>福祉実践教室の様子</p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>道徳教育でいのちや生き方について、多面的・多角的に考える学習を継続的に行うことにより、福祉教育に関する意識を高めることができた。</p> <p>福祉施設や地域でのボランティア体験について、参加希望者は毎年たくさん申し込みがあるので、ボランティア活動に対する意識は高まっていると感じる。</p> <p>今後も自分たちができることを考え、全校で取り組めるような実践を続けていきたい。また、地域の方々とともに、より充実した活動を行っていきたい。</p>			

**※上記内容を含むものであれば、本報告書の様式は問いません。**

※当会ウェブサイトに掲載させていただきます。また、可能な限り各校でウェブサイト等に掲載してください。




## 令和5年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立北方中学校	学校No.	58			
<p>1 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>本校は、『『自主・責任』を常に意識し、実行に移すことのできる生徒の育成』を教育目標に掲げ、生徒の自主的な活動を重視した各種活動に努めている。また、体験活動を多く取り入れることで、校訓でもある『自主・責任』の具現化を目指している。社会福祉教育もこの一環として位置づけ、社会福祉への理解と関心を高め、福祉の心の育成を図るとともに実践力を育てることを目標とし、豊かな心の育成に取り組んでいる。</p>						
<p>2 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>（1）社会福祉活動に対する関心を深め、意識を高める活動</p> <p>ア 福祉実践教室（1年生）</p> <p>事前に、総合的な学習の時間などで福祉に対する意識高揚を図った。当日は、点字・要約筆記・視覚障害者ガイドヘルプ・高齢者疑似体験の講習を受け、体験活動を行った。実際に体験することで、障害のある人たちの苦勞を感じることができた。また、自分たちの環境を見直すことで、進んで福祉活動に関わっていこうとする気持ちを高めることができた。</p> <p>イ 広報活動（全学年）</p> <p>生徒の活動については、写真や感想を紹介したり、掲示物に展示したりした。また、学校ウェブサイトで、活動の様子を知らせた。</p> <p>（2）地域社会との連携を図る活動</p> <p>ア 夏休み福祉ボランティア体験（全学年[希望者]）</p> <p>夏季休業中に老人福祉施設や障害者施設などを訪問し、一日体験学習をした。戸惑いや不安があったようだが、活動を続けるうちに、自分でも役に立つことができると感じられるようになった。活動を通して、楽しさや喜びを感じ、今まで抱えていた高齢者や障害のある人たちに対する理解を深めることができ、貴重な体験となった。</p> <p>イ 地域ボランティア活動（全学年[希望者]）</p> <p>今年度、新型コロナウイルス感染症の5類移行と関係者の尽力により、多くの地域行事が復活開催され、運営の手伝いや清掃活動などに多くの生徒が参加した。地域の方々にあいさつされたり、褒められたりすることにより、大人に認められ、地域に役立っていることを実感させることができた。</p> <p>ウ お年寄りを囲む会（3年生）</p> <p>今年度、四年ぶりに開催することができた。地域のお年寄りを学校に招き、給食をともにしながら、戦後の体験談や昔の遊び、北方町の生活様式、伝統文化などの話を聞かせていただいた。生徒たちは、多くの人たちに支えられて生活が成り立っていることを学び、自分たちに寄せられている地域からの期待も感じながら、郷土を愛する心を高めていくことができた。</p> <p>（3）生徒の手による自発的な活動</p> <p>ア 学校周辺にある通学路のゴミ拾い（環境委員会）</p> <p>イ 赤い羽根共同募金活動（生徒会）</p> <p>ウ ゴミ0運動（環境委員会）</p> <p>エ あいさつ運動（生徒会）</p>	<p>【福祉実践教室の様子】</p>		<p>【地域ボランティア活動の様子】</p>		<p>【お年寄りを囲む会の様子】</p>	
<p>3 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>コロナ禍における制限が解除され、今年度は計画的に活動を進めることができた。様々な体験活動や道徳教育などを通して、福祉活動に対する関心が高まるとともに、命の大切さを感じ取ったり、思いやりの心が育ってきたりしている。今後も生徒の成長につなげていけるように活動を充実させていきたい。また、地域のボランティアにも積極的に参加させ、地域に貢献する喜びを味わわせたい。生徒に成就感を味わわせることにより、福祉に対する意識をさらに高めていくとともに、より多くの生徒が関わるように働きかけていきたい。</p>						

## 令和 5 年度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学校名	一宮市立大和中学校	学校 No.	59
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>本校は、「『笑顔・輝け・大中』のもと、心身ともに健康で、知・徳・体の調和のとれた思いやりのあるたくましい生徒の育成をめざす」ことを教育目標に掲げている。今年度も社会福祉実践校として、社会福祉に関する理解と関心を高め、「共に生きる」姿勢を育てることを目指し、福祉教育推進係や各学年・生徒会を中心に活動を進めている。</p> <p>○一宮聾学校や本校特別支援学級との交流を通して、障害のある人との心のふれあいを深め、理解推進を深める。</p> <p>○福祉実践教室を通して、障害のある人の日常生活について正しい認識を深め、共にたくましく生きようとする気持ちの高揚を図る。</p> <p>○福祉体験やボランティア体験活動を通して、思いやりの心と助け合う態度の育成を図る。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1)一宮聾学校や本校特別支援学級との交流 6月は本校、11月は聾学校において2回の交流会を実施した。ドッジボールや障害物リレーの競技を通してチームで作戦を立てたり、お互いに協力し合ったりして、理解を深めることができた。</p> <p>(2)福祉実践教室 福祉についての理解と実践態度の育成を図り、「共に生きる」明るい社会をみんなでつくることをねらいとして、1月に実施した。事前に当日受講する講座の学習を進め、疑問に思ったことを講師の方々に質問できるようにして福祉実践教室に臨んだ。車いす・手話・点字・視覚障害者ガイドヘルプ・高齢者疑似体験・認知症理解・発達障害理解の体験を講座別に行い、実践力を高めていくことができた。</p> <p>(3)福祉体験活動・ボランティア体験活動 1年間を通じて、さまざまなボランティア活動を実施した。参加した生徒はみな貴重な体験ができ、相手を思いやる気持ちを育て、感謝される喜びを味わうことができた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="204 1451 528 1709" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="549 1429 807 1771" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="823 1442 1118 1715" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1134 1420 1398 1738" data-label="Image"> </div> </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <span data-bbox="341 1760 507 1794">聾学校交流会</span> <span data-bbox="831 1760 1102 1794">ボランティア体験活動</span> <span data-bbox="1182 1760 1347 1794">福祉実践教室</span> </p> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>それぞれの活動は継続的なものとして定着してきているが、昨年度に比べ、より多くの生徒が積極的に福祉活動に参加するようになってきた。活動を通して、社会福祉に対する関心・理解が高まるとともに、人の役に立ちたいという主体的な気持ちで取り組む姿が多く見られた。今後、早めにボランティアの紹介をしていき、多くの生徒がボランティア活動に参加できるような環境を整えていきたい。また、地域の方とのふれあいを大切にして地域に広がる活動を展開するなどして、福祉への理解と意識を高めていきたい。</p>			

## 令和年 5 度 一宮市社会福祉推進校実践活動報告書

学 校 名	一宮市立今伊勢中学校	学校 No.	60
<p>1. 福祉教育の取り組み（目標・計画・推進体制）</p> <p>「豊かな心をもち、たくましく生きる生徒の育成」を教育目標に、生徒会活動やボランティア活動を通して、礼節や思いやりの心を育て、人権意識の高揚を図るとともに、いじめや不登校生徒をつくらぬ学校をめざし、実践に取り組んだ。</p> <p>2. 福祉教育の具体的活動の内容（活動の記録）</p> <p>(1) 夏季ボランティア体験</p> <p>毎年、夏季休業中に、校区内の福祉施設でボランティア体験学習を行っている。ボランティア体験では、食事の介助や身の回りの世話、施設利用者とのレクなどを行った。この体験を通して、相手の立場に立って考えようとする気持ちが生まれたり、社会福祉関係の仕事について考えたりするなど、福祉に関する考えを深めることができた。</p> <p>(2) 生徒集会(オンライン)</p> <p>人権週間に合わせて、生徒集会を行った。11月28日(火)に生徒会による赤い羽根募金の呼びかけと、校長講話(人権の話)、12月5日(火)に赤い羽根募金の報告と、R5今伊勢中いじめ追放宣言5ヶ条の発表があった。5日(火)の集会前に、各クラスでの話し合いを経て、「いじめ追放宣言書」を作成し、いじめを許さない学級を目指し、生徒一人ひとりがいじめをなくすためになにか必要かを考えることができた。6日(水)以降は、宣言書5ヶ条を教室掲示し、意識して生活することができた。</p> <div data-bbox="220 1025 624 1055" style="margin-left: 20px;"> <p>&lt;夏季ボランティア体験の様子&gt;</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="210 1070 635 1384" style="width: 45%;">  </div> <div data-bbox="210 1406 635 1720" style="width: 45%;">  </div> <div data-bbox="703 1003 1449 1720" style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>11月29日(水)~12月1日(金)「いじめ追放宣言」作成</p> <p>私たちは、いじめを絶対に許しません。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・だから「言動に責任を持ち、思いやりの心もちます」</li> <li>・だから「相手の気持ちを考えて行動します」</li> <li>・だから「人の良い所を探します」</li> <li>・だから「互いに至らぬ点を責めずに補い合い、協力し合い、学校全体で高め合います」</li> <li>・だから「感謝を忘れず、感謝される人間になります」</li> </ul> <div data-bbox="863 1375 1347 1711" style="width: 100%;">  </div> </div> </div> <p>3. 福祉教育の成果と今後の課題</p> <p>本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症になったため、生徒会主催の小学校でのあいさつボランティアや校内のあいさつボランティアを行うことができた。少しずつではあるが、コロナ流行前に行っていた活動を行うことができた。来年度も、新型コロナウイルス感染症に対する予防を徹底し、「誰かのために働きたい」という生徒の思いを形にできるように、地域の行事にボランティアとして参加できるような機会を、地域づくり協議会と連携して増やしていきたい。また、生徒会活動やボランティア等で学んだことや高めた意欲を、日々の生活に生かせるようにしていきたい。</p>			